

中部教育事務所だより

発行所 群馬県教育委員会事務局
中部教育事務所
発行人 古市 功
発行日 令和5年1月30日
〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1
TEL (027) 232-6511

【学校教育係 指導】

〈地区別人権教育研究協議会 伊勢崎市立第四中学校〉

1月21日(月曜日)に伊勢崎市立第四中学校を会場として、地区別人権教育研究協議会を実施しました。感染症拡大防止に留意しながら、3年ぶりに管内70校より人権教育等の担当教員に参集していただきました。第四中学校では、人権教育の研究テーマを「自分の大切さや他の人の大切さを認め合いながら、よりよい人間関係を育む生徒の育成～自他の良さや努力を認め合える、生徒主体の活動を通して～」と設定し、一人一人を大事にした生徒主体の活動の充実を図っています。当日は、直接的指導に視点を当て「国語」「特別の教科 道徳」「学級活動」の三授業を公開していただきました。授業研究会では班別協議にて参会の皆様による熱心な協議が行われました。

全体会では、第四中学校、田村克美校長より「真に思いやりのある生徒」の育成を目指し、一人一人の「違い」を認め合うことの大切さや、それぞれの「違い」を上手に組み合わせると大きな力になることなどのご挨拶をいただきました。人権教育主任の勝田祐介教諭からは、外国にルーツのある生徒が多く在籍する特色を生かし、生徒が主体となって母国を紹介する集会や、多文化を学習する機会を充実させる人権活動の取組、また、人権意識を高める掲示物等を活用した常時指導の充実など、様々な人権教育に関する取組を紹介していただきました。

以下に、公開された第四中学校の3つの授業実践について紹介させていただきます。



実践① 1年学級活動「権利の熱気球」(参加体験型学習指導事例集) 人権教育重要課題(2)子どもたち 狩野 美由紀 教諭

示された10個の権利から最後に残す5個の権利を選ぶ参加体験型学習を行いました。グループでの話し合いを通して、他者の考えのよさに気づき納得したり、折り合いをつけて合意形成を図ったりする中で、人権について考えました。生徒は、これまでに身に付けてきたアサーティブな自己表現を用いて、自分と異なる考え方を認め、少数の意見にも耳を傾けながら、自分の意見を主張していました。多様な価値観に触れながら、自他の人権を尊重することの大切さに気づくことのできた、すばらしい授業でした。



実践② 2年特別の教科 道徳「日本での生活」(自作資料)(C-18 国際理解・国際貢献) 人権教育重要課題(6)外国籍の人たち 清水 正洋 教諭

生徒達と等身大の中学2年生の主人公であるインド人女子生徒と久美子の二人のやり取りから、多面的・多角的な考察を通じて道徳的価値の理解を深め、「自分だったらどうするか?」を問うことで、生きて働く道徳性を身に付けることができました。日本人や外国人という隔てなく、同じ仲間としてお互いが助け合っていくことが当たり前であるという人権教育の視点に気づくことのできる意義ある内容でした。



実践③ 3年国語「誰かの代わりに」 人権教育重要課題(2)子どもたち 根岸 久美子 教諭

「自立」とは「支え合い」であるという筆者の主張について、マンガ『ONE PIECE』の登場人物で相関図を作ったり、自分たちの学校生活と照らし合わせたりしながら考えました。話し合いを中心とした授業ではたくさんの生徒が生き生きと語り、友達や先生との対話を心から楽しむ中で、「ありのままの自分たちのよさ」を実感することができた授業となりました。



〈教育DX推進コーディネーターより 『研修会や授業参観を通して感じたこと』〉

野中 剛 教育DX推進コーディネーター（全県担当）

今年度の活動は2年目に入り、ICT端末を活用する場面を授業以外に校務まで範囲を広げ、取組を進めています。活動内容は研修サポート、授業のICT活用事例の紹介、校務改善のサポート等が主な内容です。1年目から比べるとICTを活用する割合も多くなっています。しかし、学校間及び教員間の取組の差を感じているので、その差の是正に向け、これからも活動を展開させていきます。



大野 陽子 教育DX推進コーディネーター（中部管内担当）

今年度は、ICT端末を効果的に活用している授業で、児童生徒が目目を輝かせて参加している姿を見ることができました。中部教育事務所では、各種アプリや参加者のニーズに合わせたマンツーマン研修等を行っています。若手からベテラン、事務職員の方まで、幅広い教職員の方々に参加いただいております。研修後に「授業で使ってみます！」という言葉を受けております。

これからも先生方のお役に立つ研修やサポートを実施します。お問合せお待ちしております！



研修参加者からDX推進コーディネーターに、こんなコメントをいただきました。

地域の研修会がありまして、フォームについて紹介したら、他校の先生もぜひ使いたいとのことでした。3月にまた研修会がありますのでその時には実物を説明することにしました。皆さん乗り気でした。それまでに本校で生徒に記入させてみたいと思います。またメールさせていただくと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



研修会の内容が、参加された方々から、学校の枠を越えて広がっています♪



【学校教育係 人事】

人材育成と働き方改革に関する情報提供 ～子どもたちに豊かな学びを届けるために～

【情報Ⅰ】皆さん、「群馬の教職員スタートアップ動画」を知っていますか？

この動画は、若手や臨時的任用教職員の意識の向上や困り感へのヒントになる内容となっています。また、中堅やベテランの先生方が、メンター研修をはじめ各種研修や生徒指導部会等で活用することで、教職員の職能成長につなげることもできると思います。内容は、『教育公務員としての服務』『教職員としての人権意識』『授業作りの基礎・基本』『ICTを活用した学び』『学級経営の基礎・基本』『生徒指導の考え方』『保護者との連携』『特別な支援が必要な児童生徒への理解と対応』『保健室経営』『外国人児童生徒等教育における指導／支援の進め方』という10本の講義動画（1本、18～38分）に分かれています。

※tsulunos（群馬県YouTubeチャンネル）での限定配信（Web検索不可）です。

右上のQRコード、または、右のURLからご利用ください。 <https://onl.bz/wRD36dK>



【情報Ⅱ】教職員の多忙化解消に向けた協議会より『提言R5』が示されました！

学校向け『提言R5』には、「廃止」「縮小」「ICT化」をキーワードに、具体的な業務改善例が紹介されています。各学校の規模や特色、地域性や教職員の状況等を踏まえ、働き方改革を推進していただければと思います。「個人」「分掌や学年」「学校全体」等、様々な視点からの取組の手掛かりとして、次年度の運営に生かしていただければと思います。

また、提言にはない、より優れた実践が創造されることにも期待しております。

